

# 令和4年度 第1回武蔵野市産業振興審議会会議録

## 【審議会概要】

|       |  |
|-------|--|
| 日 時   | 令和4年7月8日（月）14：00～  |
| 場 所   | 武蔵野市役所 西棟8階813会議室  |
| 出席委員  | 福田敦会長、小田宏信副会長、高橋勇委員、榎本一宏委員、坂井健司委員、田中栄子委員、田川良太委員  |
| 事務局   | 産業振興課 吉崎課長、佐々木係長、北村まちの魅力向上担当係長、藤木主任、須藤主事、森崎主事  |
| 審議会次第 | 1 開会<br>2 議題<br>(1) 会長の互選<br>(2) 市長からの諮問<br>(3) 報告事項<br>ア 産業振興条例の改正及び計画の位置づけについて<br>イ 第二期産業振興計画の概要<br>ウ 第二期産業振興計画進捗管理状況（令和3年度分）<br>エ 第二期産業振興計画の課題と第三期産業振興計画について<br>(4) 討論<br>ア 産業の振興について<br>(5) 審議事項<br>ア 専門部会の設置について<br>イ 基礎調査のためのアンケート（案）について<br>3 閉会  |
| 配付資料  | 次第<br>資料1 武蔵野市産業振興審議会委員名簿<br>資料2 武蔵野市産業振興条例<br>資料3 武蔵野市産業振興条例施行規則<br>資料4 武蔵野市産業振興庁内調整会議設置要綱<br>資料5 第二期産業振興計画進捗管理表（令和3年度版）<br>資料6 第三期武蔵野市産業振興計画について<br>資料7 市民／近隣住民／事業所アンケート（案）<br><br>（計画及び報告書）<br>武蔵野市第六期長期計画<br>第二期武蔵野市産業振興計画<br>第二期武蔵野市観光推進計画<br>武蔵野市農業振興基本計画（令和3年度改訂版）<br>令和2年度緊急経済対策効果検証等結果報告書 |

## 【議事】

### 1 開会

- ・市長あいさつ

|     |   |
|-----|---|
| 市 長 | このたびはご多忙の中、皆さまにおかれましては、武蔵野市産業振興審議会委員にご就任いただき感謝申し上げます。本委員会は、令和4年第2回市議会定例会において、 |
|-----|---|

武蔵野市産業振興条例を改正し、新たに設置したもので、主に産業の振興に関する重要な事項、産業振興計画の策定に関する事項・産業振興計画の実施状況の評価に関する事項について、ご審議いただくものである。

なかでも、令和6年度からを計画期間とする第三期産業振興計画の策定について、令和4年度から令和5年度の2か年にわたって、ご議論をいただく予定となっている。現行の第二期産業振興計画の進捗成果や目標管理を始め、市の基本計画である第六期長期計画並びに現在策定中の長期計画・調整計画も踏まえてご議論いただくこととなるが、委員各位の豊富なご経験や知識に基づき、本市の産業振興に関する忌憚のないご意見をいただきたい。

新型コロナウイルス感染症の長期化や、ロシアによるウクライナ侵攻の影響等を受けた原材料価格の高騰等の厳しい状況に、私たちは、対応をしていかなければならない。今後の国、都、各業界団体等の動きもしっかり捉えながら、武蔵野市が目指す、「まちの魅力を高め、豊かな暮らしを支える産業の振興」を実現するため、委員の皆さまの活発なご議論を、よろしく願いたい。

- ・ 委員自己紹介
- ・ 事務局紹介

## 2 議題

### (1) 会長の互選

- ・ 委員の互選により、会長に福田敦委員を選任した。

|     |  |
|-----|--|
| 会 長 | 改めまして互選で会長を務める、よろしくお願い申し上げます。前回の策定委員会では武蔵野ブランド・吉祥寺ブランドについての議論や産学連携、農業、観光などそれぞれの産業について議論してきた。これから評価の話が出てくるが、達成度や社会状況の変化など産業振興への影響があった。そういった変化も踏まえ総合的な知見を集め、明るく前向きに議論を進めていきたい。 |
|-----|--|

- ・ 会長の指名により、副会長に小田宏信委員を選任した。

|       |               |
|-------|---------------|
| 副 会 長 | 微力だが、職務を務めたい。 |
|-------|---------------|

### (2) 市長からの諮問

- ・ 市長より、第三期武蔵野市産業振興計画の策定について諮問。  
〔市長、公務により退席〕
- ・ 委員会を原則公開とすること、傍聴の方法について、確認・承認した。〔傍聴者1名〕

### (3) 報告事項

- ア 産業振興条例の改正及び計画の位置づけについて  
資料2、資料3、資料4について事務局より説明。
- イ 第二期産業振興計画の概要  
第二期産業振興計画について事務局より説明。
- ウ 第二期産業振興計画進捗管理状況（令和3年度分）

資料5について事務局より説明。

|       |   |
|-------|---|
| 委 員   | 進捗管理をするのは大事だが、次のソリューションが必要。<br>改善をどう行っているのかが説明になかった。  |
| 事 務 局 | まだ進捗管理の先の段階まで具体的に決まっていない。こういったものがあることを認識することで状況が改善されていく。審議会での議論を通じて解決策を模索していきたい。<br>補足として進捗管理、PDCAのCAをどこまでできているのかは産業振興に限らず市役所全体で議論されている。進捗の把握は1踏み込めたところ。×でなかなか進まないものは「社会環境の変化によってニーズがなくなっているのか、行政が介入できるものではないのか」など第三期産業振興計画の策定にあたって議論していただく。場合によっては第二期に掲げていた項目をなくすことも考えられる。                         |
| 委 員   | あまりにも数が多く、規模も大きく審議委員としてこの進捗管理表をどのように見て対処すればいいのか。PDCAとは何か。<br>主管課等という該当するすべての事業を行っているのか、かなりの人が関わっているということになるのか。  |
| 会 長   | PDCAは(P)計画を立てて、(D)実行し、(C)評価し、(A)アクションするサイクルのこと。<br>○△□をどう捉え、次にどうつなげるかについては、進捗ありを○としているが、成果があった、少しでも取り組んだ、など程度によって異なるのではないかと。評価の基準ははっきりしないので、議論につなげにくい。<br>第二期計画の作成に携わった者の反省として、30の施策、内容が複数の課にまたがっているが、できるだけ目標の件数、数字を設定した方が客観的な評価が分かりやすかった。目標なので、達成できなかった場合は目標を修正し、達成した場合はやめるのか、さらに進めるのかなど、事業ごとに異なる。 |
| 事 務 局 | ○△は第六期長期総合計画の進捗の評価方法を参考にしており、評価のしやすさを優先した。<br>○が80点なのか20点なのか幅が広いというご指摘は、今後課題として受け止めたい。  |
| 副 会 長 | 一つ一つの項目の評価もあるが、それらが結びついて、良い循環に結びついているかが重要だと思う。  |
| 会 長   | この後の話になるが専門部会でより具体的に審議することになるが、それまでに進捗状況を目に見えるように、何をどこまで議論すべきか、専門部会でどう議論したら良いかが分かりやすいように工夫した方がいい。   |
| 委 員   | 進捗管理表については細かく作られていて、これによって何かを導くようなデータではなく未加工のデータととらえてほしい。問題点・課題点の抽出、次の計画にどう活かしていくのかの議論はできていない。指標は大雑把に見えるが、こうしないと各課、各団体が評価できないという実情がある。第三期では評価をどうしてもらおうのか、どう進捗管理をしていくのかまで議論していきたい。   |
| 会 長   | 選択肢の項目の「内的要因（優先順位が低い等）の影響」というのは、市の各セクションの中で優先度が低いのか、産業振興計画の中での優先度が低いのか。   |
| 事 務 局 | 内的要因は関係機関や主管課が取り組めていない、その団体内での優先順位が低いということである。外的要因はインフラの整備、法令の整備などが、済んでしまっているまたは完了しているということ。市の行政の中で事務事業見直しという制度があり、主管課等が改める必要があると判断したもの。  |
| 会 長   | 評価しているのが主管課なので、メインではないという位置づけという書き方になっている。評価の在り方に改善の余地がある。  |
| 委 員   | 主管課に商工会議所とあるが、これは会議所の事務局との打ち合わせの結果か。  |
| 事 務 局 | 事務局に四半期ごとに提出し回答をもらっている。   |
| 委 員   | 逆の視点からだと市として商工会議所に取り組んでほしいということか。   |
| 事 務 局 | そうである。  |
| 委 員   | 今までも進捗管理をしていたのか。  |
| 事 務 局 | 令和3年度から導入している。  |

|    |   |
|----|---|
| 委員 | 本当は第二期開始と同時に開始するつもりだったが、コロナで手がつかなかった。令和3年にやっと開始することができ、各団体に評価をお願いをして取り組みを始めた。 |
| 委員 | 指針があって、商工会議所として取り組んでいない、取り組めていないことがたくさんある。                                    |
| 委員 | すぐできるものと長期間かけて取り組むものを分ける必要がある。  |

エ 第二期産業振興計画の課題と第三期産業振興計画について

資料6について事務局より説明。

(4) 討論

ア 産業の振興について

|    |   |
|----|---|
| 委員 | 審議会での提案を専門部会で議論してもらうことになるのか。<br>「若者」という切り口があってもいいのではないかと提案をしていいのか。<br>吉祥寺での滞在時間をどう長くするかという視点をアンケートに組み込んでほしい。<br>こういった意見を言うのが審議会ということによろしいか。   |
| 会長 | 生活都市であること、就労（採用、人材育成）などのキーワードについて産業振興の観点から議論していく。それが強い産業を作り、集客につながる。<br>ポテンシャルを高めていく、その視点として「女性」や「シニア」がある。カテゴリーを意識せずとも誰もが立ち寄れるといったコミュニティ性を前面に出した仕掛けができないか。起業、創業はなかなかハードルが高いが、自分の得意なこと、やってきたことを実現できる場、活かせる拠点を作る。プラットフォームを作ることはできないかという議論をしていきたい。<br>評価をしづらい計画を作ると混乱するので、逆説的ではあるが評価しやすい計画を作ること意識して議論を進めていきたい。 |
| 委員 | 20代30代が吉祥寺に魅力を感じていない。吉祥寺の魅力とは何か、深掘りする必要がある。吉祥寺は歩いて魅力を感じるまちである。商店街、吉祥寺らしさが確立されている。ナショナルチェーンが増えて個性が薄くなっていることを危惧している。皆さんが何を求めているのか、商工会議所として何をすべきか知りたい。   |
| 委員 | 農業振興計画では、誰に伝えるものなのかを考えた。計画の中身を農業者が知らないことがあったので、まずは中身を知ってもらう必要がある。概要版を作成し、商業関係者など対象者にお知らせする。農業振興計画は概要版をつくり、農業者に知らせる取り組みを行う予定。そのような知ってもらう取り組みがあってもよいのでは。  |
| 会長 | 第二期産業振興計画策定時には中盤で市長が「まちづくり、下水道などのハード面に比べて、産業そのものについての関心度が低い」という話をしていた。市民意識調査では、重要度・満足度ともに「産業と消費生活」は24位中22位。自分事として意識を変えていくことが求められている。20代が吉祥寺から離れているという危機感やシニア、女性といったジェンダー等関係なく、すべての人が愛着を持てる仕掛けも併せて考える必要がある。未来の在り方を描いたうえでそれに向けて何をすべきかを考える必要がある。   |
| 委員 | なぜ●●委員は武蔵野市で起業したのか知りたい。   |
| 委員 | アニメーションは東映と手塚プロなど中央線周辺に集まっている。武蔵野市が旗揚げすれば集まるのではないかと感じている。現在アニメーションは、誰もが分かりやすいものとして認知されていて、流動的に引っ張る力があれば若者の興味も引くことができる。YouTubeなどで発信する、総合相談窓口を設置するといったまちづくりというインフラと産業振興だけではなく、吉祥寺で遊ぶ人たちの目線での活性化が必要。こういった考え方を専門部会で提案していただきたい。  |

(5) 審議事項

ア 専門部会の設置について

資料2について事務局より説明。

専門部会の設置、福田委員・田川委員の専門部会への推薦について確認・承認した。

イ 基礎調査のためのアンケート（案）について

資料7について事務局より説明。

|       |   |
|-------|---|
| 委 員   | <p>答える側としてアンケートをやってみた。</p> <p>（市民）問6の市内での就業について、難しいと感じた。まずは「あなたの就業状況について」などの方が良い。</p> <p>（近隣）問8にアニメのまちとしての魅力とあるが、急にピンポイントだと感じた。コンテンツはアニメだけではないので、アニメだけにフォーカスを当てすぎない方が良い。</p> <p>（事業所）問12について4を回答した人は問13 にとまっているが、1-3を選択した場合、問13に答えなくてよいという解釈をしてしまった。書き方を変えた方がいい。問8について質問の順番に違和感を覚えた。問19についてこの内容はわかりやすい質問なので市民、近隣住民に聞いてもいいのでは。</p> |
| 事 務 局 | <p>ご指摘のあった部分はアンケートを修正していきたい。事業所の問19は市政アンケートで市民向けに実施している。</p>  |
| 委 員   | <p>アンケートはこの三つだけなのか。他にもアンケートがありそれを審議会用に準備するのか。</p>   |
| 事 務 局 | <p>毎年実施している市民アンケートなど、内容を参考にできるものはそこから抽出したい。</p>   |
| 委 員   | <p>第三期計画の中で女性やシニア、来訪者を増やしていくことを考えているのであれば、市内のモニターだけでなく各駅での来訪者の目的や滞在時間、市内で何をしたのかなどの調査をしてほしい。女性クラブやシニアクラブ、保育園、大学の学生など生活者のターゲットを絞る。起業の中でも、農業の事業継承など、今後どう農業を振興していくのかも視野に入れていきたい。アンケートの種類を三つ以外にもそれに見合った項目で実施してほしい。</p>   |
| 事 務 局 | <p>他の分野で他課が実施しているものとの重複があるので、すでに実施されているものを活用していきたい。例えば農業であれば昨年の農業基本計画作成にあたって実施したアンケートがある。その他にも開発公社が来街者調査を実施しオープンデータとして公表しているものなどがある。</p>  |
| 会 長   | <p>他の機関がやっている定量的な調査や定性的なデータ、経年調査やデジタルを活用した調査などどこが管理しているのか、公開できるのかなど収集できる可能性があるものをご検討いただきたい。思い当たるものはあるか。</p>   |
| 事 務 局 | <p>開発公社がWi-Fiの利用状況のデータ、駅の利用状況を調査したものなどがある。他の部署での調査を収集したい。</p>   |
| 会 長   | <p>坂井委員から市民アンケートについて質問の順番の指摘があったが、質問項目の順番の入れ替えで検討するとよいのではないか。</p> <p>今日の会議の中でアンケートの内容は確定させるのか。</p>  |
| 事 務 局 | <p>修正の方向性を示していただければ、事務局が委託事業者と協議して修正を加えていく。</p> <p>委員から会長に一任するという形にいただければ、事務局が修正したものを会長、副会長に示して確定したい。</p>   |

基礎調査のためのアンケート案（事業所・市民・近隣在住者向け）は審議会の意見を反映し、事務局・受託事業者の調整のうえ、実施していくことについて、確認・承認した。

・ その他

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 事 務 局 | <p>次回の審議会は令和5年5月頃に開催する。</p> |
|-------|-----------------------------|

第1回専門部会は、9月30日に開催し、年内に3回実施する。  
専門部会の審議内容については都度、事務局から報告する。

### 3 閉会